

アース王子まつりを通して、環境保全活動を行っている県内の団体の紹介と子どもたちへの環境教育の推進を図り、6月の環境月間を盛り上げます

主催：環境パートナーシップいわて

アース王子まつり

入場
無料

6月は環境月間です...
地球によいことしよう！

平成27年6月21日(日)

11:00~16:00

岩手県民

情報交流センター

(アイーナ4F 県民プラザ)

ぼくと一緒に
地球をまもろう！

アース王子は地球を守るために、
産まれてきた王子です。
幼稚園や保育園、地域に出向いて、
子どもたちと一緒にエコ活動がんばっています。

会員の環境保全活動パネル展示

ニューズレター 第 23 号
2015.7.10

第 12 回通常総会ならびにアース王子まつり開催される

6月21日(日)特定非営利活動法人環境パートナーシップいわての第12回通常総会がアイーナ4F アイナスタジオにて開催されました。同時にこの日は環境パートナーシップが行う活動、会員が行う環境保全活動、さらに今年度から新たに始まった公募による市民提案プロジェクトの活動内容などを広く県民の皆さんに知っていただくための「アース王子まつり」をアイーナスタジオに隣接する県民プラザで開催しました。6月は環境月間です。しかし、これを知る県民は多くありません。報道機関の取り上げもない状態です。環境活動を推進する環境パートナーシップいわてでは、この現状を変えていくため環境パネル展を中心とするアース王子まつりを企画しました。県内で環境問題に取り組む多くの団体の活動を県民の皆さんに紹介し、知ってもらうのが目的です。こうした催しを今後も続けて行きたいと考えて

います。午前11時から午後4時までアース王子まつりが行われ、第12回通常総会は午後3時から開催されました。

1. 第12回通常総会

出席会員29名、委任状提出51名のご参加をいただき、議長に岡村治氏を選出し総会が開催されました。議案は1)平成26年度事業報告(スライド映像による報告)、2)平成26年度活動決算報告ならびに監査報告(泉山博直監事報告)、3)平成27年度事業計画(案)、4)平成27年度活動予算(案)、5)定款変更(案)の5議案が審議されました。総会参加者は少し早めに会場に到着し、県民プラザで行われているアース王子まつりのパネル展などを見たり、クイズコーナーなどを体験した後、隣接するアイーナスタジオの総会会場に入りました。5議案の審議は全会一致で議決され、平成27年度の新たなスタートが切られました。

2. アース王子まつり

「アース王子」は主に子どもたちの環境教育を推進するために平成 22 年に環境パートナーシップいわてが開発した新たなキャラクターです。それまでのキャラクターには「エコハッチちゃん」がありました。エコハッチちゃんは現在も CO₂ 削減の象徴的存在として健在ですが、これからは2つのキャラクターが2人3脚で、環境教育、環境保全活動を推進していきます。地球を守るために何をするのか。子どもたちに考え、自主的に行動してもらうためにアース王子は県内各地に出かけます。



1) 環境保全活動パネル展

環境パートナーシップいわてが行う環境保全活動、会員の活動、昨年度に公募し選定され平成 27 年度に実施される市民提案プロジェクトの内容などを広く県民の皆さんに知ってもらうため今回は、環境パネル展を実施しました。会員に限らず環境保全活動を行う団体にもお声がけをし、今回は 16 の活動が紹介されました。



① 秀吉十日会の被災地支援事業（平成 27 年度市民提案プロジェクト採択事業）

被災地仮設住宅に暮らす人々を元気づけるため支援活動続ける秀吉十日会の活動が紹

介されました。



② 緑のカーテンプロジェクト（自主事業）

被災地の仮設住宅などに緑のカーテンを設置する事業は、夏場の暑熱対策、住民たちのコミュニケーション、子どもたちの元気を図るなどの効果をもたらしています。時間の経過とともに被災地の様子も少しずつ変わり、平成 26 年度は復興住宅、公共施設にも緑のカーテンを広げました。

③ 着物リメイク支援プロジェクト（自主事業）



古くなった和服をリメイクし洋服によりみがえらせる。被災地仮設住宅集会所などで指導にあたる小赤澤直子さんの取り組みは多くの人々に元気を与えています。

④ アイーナ夜学（自主事業）



地球 1 個分の暮らし（エコロジカルフットプリント）を目指すにはどうするか。毎月第 3 木曜日 19 時～21 時に開催されるアイーナ夜学は 100 回を超えハカローくんなどの環境計量モデルも提案しています。

⑤ キャンドルナイトプロジェクト（自主事業）



こんなにエネルギーを使っている？夜がこんなに明るくていいの？夏至と冬至の夜にライトダウンを行い、ゆるやかな時間を過ごす。私たちの

生活全体を見直すきっかけ作りの活動です。

⑥ いわて生活協同組合（会員活動）



環境保全活動に積極的に取り組み、消費者によりよい品物をお届けするいわて生活協同組合の「エコライフを一緒に」の取り組み内容が紹介されました。

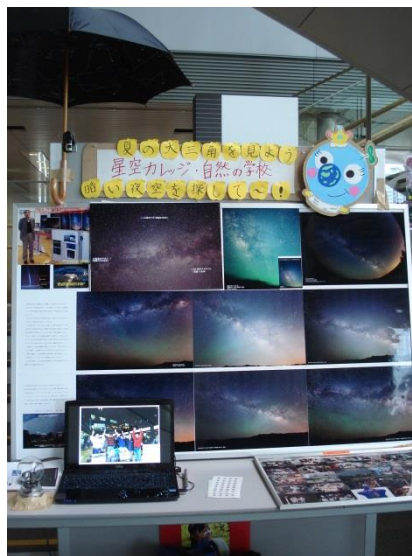
⑦ 盛岡市環境企画課（会員活動）



ふるさとの川を大切にしよう。油流出事故防止のお知らせ、環境学習を行うエコアス広場、環境

学習講座、太陽光発電システム設置補助金など盛岡市の環境の取り組みが紹介されました。

⑧ 星空カレッジ・自然の学校（会員活動）



奥州市で星空観察会を開催する会員の酒井栄さんが素敵な写真をたくさん見せてくださいました。間近にある素晴らしい世界、星空をじっくり眺める素晴らしい

さを知らせてくださいました。

⑨ 環境学習交流センター（受託事業）



環境学習、環境保全を進めるためアイーナ5Fを基点に活動するセンターが行う館内展示、環境学習講座、訪問学習、環境アドバイザー派遣、出張環境学習会の開催、情報誌とての発行、備

品の貸出などの各種事業の紹介です。

⑩ 岩手県地球温暖化防止活動推進センター（受託事業）



8つのダイエット、温暖化防止防ごう隊、うちエコ診断、温暖化防止フェア、温暖化防止活動推進員など温暖化防止活動推進センターの取り組みを紹介しました。

⑪ 森のゼミナール（受託事業）



小学校の森林学習会、地域の森や林を利用し、住民とともに地域活性化を図る森の実践ゼミナール。森の実践ゼミナールは現在3地域を募集中です。会員の皆

様で知っている近くの森があればご紹介下さい。

⑫ カーボンオフセットの取り組み（補助事業）



温暖化防止のためCO₂を岩手の山林でオフセットする。小学5年生の意見から生まれたカーボンオフセットMiniカードの取り組みなどを紹介しました。

⑬ 三陸自然学校 ESD（受託事業）



被災地大槌の自然の素晴らしさを再発見する。三陸自然学校は、地元の子どもたちが、森・川・海の不思議を見つける事業として進行中です。

⑭ 岩手の海岸林再生



津波により失われた岩手の防災海岸林をどのように再生させるか。防災海岸林の重要性と地元の人々と一体となり、海岸林再生に向け取り組む必要性などを訴え

ました。

⑮ BDF 取り組み紹介



廃食油を再生させディーゼルエンジン車の燃料に再利用する。または発電機の燃料として活用する。BDF（バイオディーゼルフューエル）は地域の資源として注目されています。震災の際は、ガソリン不足の中BDFを燃料とするディーゼル車が、被災地に多量の支援物資を運びました。BDFの活用は環境をクリーンに保つためにも重要な働きをしています。沿岸部で被災により失われたBDFの製造拠点を3年がかりで復活させようとする環境パートナーシップいわての取り組みなどを紹介しました。



「6月は環境月間」アース王子まつりのエントランスを飾った看板



⑩ 環境パートナーシップいわて



10年の歩み、今後の10年に向けた環境パートナーシップいわての4つの活動目標「震災復興支援・地域作り・リーダー育成・啓発と教育」と3つの手段「学

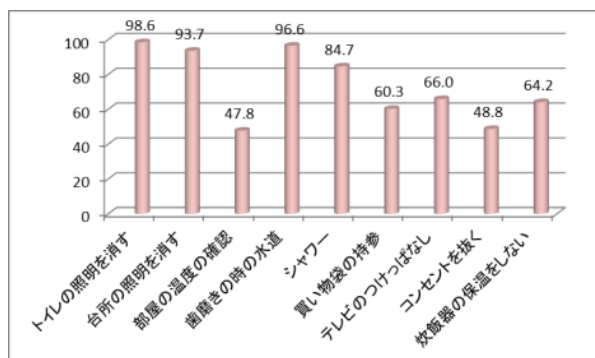
び・応援・提言」を紹介しました。また認定NPO法人に向けて多くの県民の皆様にご理解、ご支援をいただくための寄付制度を紹介しました。

2) おうちでエコなことをしてますか？



盛岡近郊の3千人余りの小学5年生のアンケート結果から子どもたちのエコ度が分かってきました。会場を訪れた子どもたちにもお家でどんなエコをしていますかを、シールで貼りました。

盛岡近郊小学5年生のアンケート結果



アース王子まつり参加者の集計結果

誰もいない部屋の照明を消す (トイレ)	18
誰もいない部屋の照明を消す (台所)	17
部屋の温度の確認 (冬 28℃、夏 20℃)	9
水を出しっぱなしにしない (歯磨きの時)	22
水を出しっぱなしにしない (シャワー)	16
買い物袋の持参	16
テレビのつけっぱなしをやめる	10
使わない電気器具のコンセントを抜く	4
炊飯器の保温をしない	17
合計	129

小学5年生のアンケート結果と同様に使わない部屋の照明を消す、水を出しっぱなしにしないなどの回答が多く、部屋の温度の確認、使わない電気製品のコンセントは抜くなどは低い実施でした。

3) 環境博士にチャレンジ

展示パネルを出展した団体が出した3問のクイズのうち2問に正解すると駄菓子もらえる。多くの子どもたちが3つの環境クイズに挑戦し駄菓子をもらいました。





4) 牛乳パック 1000 枚回収チャレンジ

回収した牛乳パック 1000 枚でどのくらいのトイレトペーパーが再生できるの？クイズの正解者にはアース王子マーク入りエコバッグをプレゼントしました。



(牛乳パック 1000 枚でトイレトペーパーは 166 ロールが再生可能です。この子どもたちが集めた牛乳パックは再生紙として有効活用されます。)

5) 電話でいいとも

ネット回線を使いテレビ電話で遠隔地の環境活動家とお話する。この日はスイス在住の近自然学研究所代表山脇正俊氏とテレビ電話をつなぎ、岩手の環境を美しいまま保ち、未来世代にどのように継承していくべきかを佐々木明宏副代表ならびに会場の参加者がトーク形式でお話を交わしました。



6) 花苗プレゼント

アース王子まつり来場者にはもちろん花苗がプレゼントされました。ダリヤ、千日紅、日々草、ベゴニアの 4 種をプレゼントしました。



今回初めての試みとして会員、環境保全を行う各種団体にお声がけをし、活動内容を県民に知らせるアース王子まつりは、環境パートナーシップいわての確実な一歩となりました。今後は毎年総会開催時期に合わせ環境月間を県民にお知らせする行事に育てていきたいと考えています。たくさんの方のご参加をお待ちしています。



環境パートナーシップいわて 27 年度活動方針

県民が将来にわたって「ここちよく豊かに生き延びる」ために

27 年度の活動方針として環境パートナーシップいわてでは、次の 3 項目を重点的に取り組みます。

昨年度当法人は「仮認定 NPO 法人」として岩手県から承認を受けました。認定 NPO 法人の取得に向け努力を続けてまいりますが、今後は一層の社会環境貢献が求められます。

私たちは、法人設立 12 周年を新たな挑戦の年と位置付け、これまで培われてきました多くのパートナーと連携する活動をより広く・より深く進めていきたいと考えています。被災地への環境支援は、引き続き重点課題として取り組みます。岩手県から本年度も環境学習交流センターの事業を委託され、同時に岩手県地球温暖化防止活動推進センターの指名を受けました。従来にも増して県当局との密接な連携の中で、これら両センターの運営を進めてまいります。今年度の取り組みとして

- ①環境月間に開催してきた当法人総会を、県民への啓発の機会と捉え、当法人の活動以外にも、連携して活動する環境団体等の公開の場として、子供たちにも親しみやすい「アース王子まつり」として開催します。
- ②無事故を続けて来た当法人の活動において昨年度に事故が発生しました。特に本年度から安全衛生に関する講習会などを頻繁に開催し、スタッフのみならず協力頂く多くのパートナーの安全衛生意識を高め、諸活動の中での「ゼロ災害」を目指します。
- ③「認定 NPO 法人」としての認証を得るために、組織としての充実を図るとともに PST（パブリックサポートテスト：広く一般市民からの支援を受けているかどうかを判断するため 3 つの基準[相対基準、絶対基準、条例個別指定基準]のいずれかを満たしていること。当法人は絶対基準である年間 3,000 円以上の寄付者 100 名を目指します）の要件を満たすべく、質の高い環境活動を進めます。



第 1 回安全衛生研修会（渋谷晃太郎県立大学教授を講師にスタッフ研修会を実施 2015. 5. 30）

皆様からのご寄付が環境パートナーシップいわての未来を創ります



ご支援いただくご寄付の使用方法

CLT セミナー in もりおか 開催される

地方創生の一環として国内では林業・木材産業を成長産業と位置付け、CLT（直交集成板）など新たな木材製品の開発と実用化に向けた技術革新が推進されています。岩手県においても CLT の動向に関心が高まっており、建築家の立場で CLT を建材利用するフィンランドの環境芸術家・建築家である Marco Casagrande（マルコ・カサグランデ）氏（Casagrande laboratory / Finland）の来県を機に 4 月 14 日にアイーナにて講演会を開催しました。マルコ・カサグランデ氏の講演は「PARACITY・自然と共生する木造コミュニティ建築」と題し CLT が高層建築にも十分対応可能であり、木材生産地の本県にも応用範囲が広いとするものでした。当日は東京在住の建築家で層構造住宅を被災地に提案する株式会社環境システム研究所代表の原田鎮郎氏の講演「津波に対応した環境配慮型 CLT 人工地盤の提言」、一般社団法人日本 CLT 協会中谷浩之氏の情報提供「新しい木造建築材 CLT と普及への展望について」も行われ、CLT の理解を深めました。

【マルコ・カサグランデ氏】

1971 年フィンランド生まれの建築家。2013 年、ヨーロッパ建築賞を受賞。環境に配慮した建築手法を取り入れ他分野とのコラボレーションも積極的に行う。「廃墟建築」でも知られ、閉鎖された工場や廃船などを文化交流や憩いの場へと生まれ変わらせている。2001 年横浜トリエンナーレ、2002 年とち国際現代アート展「デメーテル」、



2003 年新潟 越後妻有トリエンナーレなど日本国内のアートイベントに出展。



大勢の聴講者を集めた CLT セミナー in もりおか

【 CLT 】

CLT（Cross Laminated Timber、クロス・ラミネーティッド・ティンバー）は、欧州で開発された工法で、板の層を各層で互いに直交するように積層接着した厚型パネル。平成 25 年には日本農林規格（JAS 規格）に直交集成板の名称で制定される。一般的な集成材は、貼り合わせる板の繊維方向が並行するのに対して、CLT は直交するように交互に貼り合せて作られる。CLT の特性は、直交積層により得られる高い寸法安定性であり、断熱性に優れ、大判のパネルとして利用することで高い耐震性を確保する。国内では、国産杉でも十分な強度を有する CLT パネルが製作できる。杉は比重が軽く断熱性能が高いことから CLT に適しており、森林資源が豊富な国産スギの需要拡大が期待される。

久しぶりのニューズレター発行です。総会に参加できなかった会員の皆様に総会資料をお送りするのに合わせ大急ぎで 23 号を作成しました。今回は初の試みであるアース王子まつりの開催模様が中心となりました。ご了承下さい。

27 年度分の会費納入をお願いいたします。

会員の皆様からの会費は自主事業の大切な財源です。同封の振込用紙にて 27 年度分の会費納入をお願いいたします。なお、すでに総会で会費をお支払いになられた方には振込用紙は入れておりません。

連絡先 〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通 1-7-1 アイナ 5F TEL:019-681-1904 Email: kanpai@utopia.ocn.ne.jp

ニューズレター23号発行：特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて マネジメント・ガバナンス委員会